

## 密かに進行する国民病\*

### 慢性腎臓病（CKD）について知っていますか？

\*：国民の多くがかかり、人口が減ったり生産力が下がったりするなどの大きな影響を及ぼす病気。

#### 1：慢性腎臓病（CKD）とは

慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease：CKD）は、腎臓の働き（推算糸球体濾過速度：eGFR）が健康な人の 60%以下（eGFR が 60mL/分/1.73m<sup>2</sup>未満）に低下するか、あるいはタンパク尿が出るといった腎臓の異常が 3 か月以上続く状態のことです。

加齢とともに腎臓の機能は低下するため、高齢者になるほど CKD の発症数は多くなります。高血圧、糖尿病、コレステロールや中性脂肪が高い（脂質代謝異常）、肥満やメタボリックシンドローム、腎臓病、家族に腎臓病の人がいる場合は要注意です。CKD は、心筋梗塞や脳卒中といった心血管疾患の重大な危険因子になるので注意が必要です。

#### 2：CKD は私たちの生活を脅かす国民病です

日本の CKD の患者数は約 1,330 万人と推定されています。これは日本成人の約 8 人に 1 人ということになり、新たな国民病になりつつあります。

CKD は初期の自覚症状がほとんどないため、貧血、疲労感、むくみなどの症状が現れたときには、病期がかなり進行している可能性があります。定期的な健康診断や医療機関での検査によって CKD を早期に診断し、適切な治療を行うことで、CKD の進行を防ぐことが重要です。

図.CKD の主な症状



#### 夜間尿

夜間に何度も  
トイレに・・・



#### むくみ

靴や指輪が  
きつくなる



#### 貧血

立ちくらみや貧血  
がたびたび起こる



#### 倦怠感

疲れやすく、常にだ  
るい感じがする



#### 息切れ

少し早歩きした  
だけで息が切れる

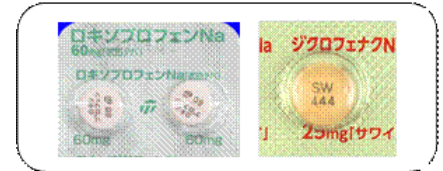
#### 3：CKD で注意が必要な薬剤について

薬の中には腎臓から排泄されるものがあり、腎臓の機能が低下している患者さんでは薬の血液中の濃度が高くなり、副作用が強く出たり、腎臓に負担がかかり、腎臓の機能がさらに悪くなる場合があります。

腎臓に影響を及ぼす薬は病院から処方される薬だけではなく、ドラッグストアなどで販売されている市販薬もあります。下記に例を掲載しますので、参考にしてください。心配であれば気軽に薬剤師に相談してください。

### ●病院で処方される薬

①非ステロイド性解熱消炎鎮痛薬 (NSAIDs) : ロキソニン® (ロキソプロフェンナトリウム)、ボルタレン® (ジクロフェナクナトリウム) など



痛みがある時や発熱している時に使用される薬です。CKD の患者さんでは、腎臓の血流量が低下し、腎機能をさらに悪化させる可能性があります。

②抗菌薬 : フロモックス® (セフカペンピボキシル塩酸塩水和物)、セフゾン® (セフジニル)、クラビット® (レボフロキサシン) など



抗菌薬には腎臓から排泄されるものがあり、CKD の患者さんでは、抗菌薬の血液中の濃度が上昇し副作用が起こりやすくなります。そのため、腎臓の機能に応じて薬の量を調節する必要があります。

③マグネシウム、アルミニウムを含む薬 : マグミット® (酸化マグネシウム)、アルサルミン® (スクラルファート) など



緩下剤や、胃酸を中和する薬として用いられます。CKD の患者さんでは、マグネシウムやアルミニウムの排泄量が低下し、体内に蓄積してしまふことがあります。

### ●ドラッグストアで販売される市販薬

①非ステロイド性解熱消炎鎮痛薬 (NSAIDs) : ロキソニン®S (ロキソプロフェン)、イブクイック®頭痛薬 (イブプロフェン) など

市販薬には NSAIDs を含む薬が多く存在します。頭痛や発熱で服用を続けることで、知らないうちに腎機能の低下を引き起こしていることがあるため注意が必要です。

②胃腸薬 : ガスター10® (ファモチジン)、新キャベ2 コーワ (乾燥水酸化アルミニウムゲル) など

便秘薬 : コーラック Mg (酸化マグネシウム)

CKD の患者さんが連用することで、体外への薬物の排泄量が低下し、体内に蓄積してしまふことがあります。

### 4 : CKD シールを知っていますか？

CKD シールは腎機能が低下した患者さんやCKD シールを希望される患者さんのお薬手帳の表紙に貼付することで、腎機能に応じた投与量や薬剤選択を医師や薬剤師がチェックするよう促すものです。CKD シールは当院も配布しているため、興味のある方はスタッフにお声がけください。

